

総合単元名	よりよい集団にするために	5月～ 7月	全9時間
めざす子ども	自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たしながらよりよい集団を目指す子	中心項目 4－(3) 関連項目 4－(1)	
ねらい	集団の中の一人として、自分の役割と責任を自覚し、協力して主体的に責任を果たしていこうとする態度を育てる。		

単元設定の理由

児童は、最高学年の自覚を意識し始め、様々な場面でリーダーとしての役割に取り組んでいる。しかし、決められた仕事をするや頼まれたことをすることはできるが、主体的に進んで責任を果たそうという姿が少ない。誰かがしてくれるだろうという考えや分かっているけれど行動ができないという思いがあるからと考えられる。そこで集団の中で互いのかかわりの大切さや協力して目標を達成するよさに気づき、主体的に責任を果たしていこうとする態度を育てたいと考え、本単元を設定した。

時期	教科・特別活動 総合的な学習の時間等	道徳の時間	常時活動 家庭との連携	子どもの意識の深まり
5月		<p>①&lt;役割と責任の自覚&gt; 4－(3)5月(1時間) 「森の絵」 文男の言葉を聞いたえり子の気持ちを考えることを通して、進んで役割を果たすよさに気づき、自分の役割を自覚して進んで責任を果たそうとする心情を育てる。</p>	<p>(◆縦割り班掃除) リーダーとして、下級生に必要なアドバイスを考えながら掃除を進めることができる。</p>	<p>◆縦割り掃除の班長の仕事はこれでいいのかな。班長として自分は何ができるかな。 ①どんな役割でもその役割がなければいけない。どれも必要な役割だ。 ②自分の係の仕事をきちんとしよう。みんなで楽しい修学旅行にするために、考えて行動しよう。 ③安全のためにルールを守り、自分の役割の仕事をするスムーズに調理実習ができるな。 ④みんなが過ごしやすい、よりよい社会にするために、自分のできることを進んでしていこう。そんな人になりたいな。 ★みんなが過ごしやすいように自分の役割を、進んでしよう。他にも自分にはできないかな。 ⑤よりよい学校をつくっていく一員として、自分のできることを進んでして、みんなで活動していこう。 ⑥メンバーの一人として役割を果たすことは大切だ。これからは自分から進んで責任をもってやり遂げるようにしていこう。 ⑦自分の役割を果たして選挙に取り組めてうれしかった。これからはよりよい学校にしていこうため、児童会の一員として頑張るぞ。 ■リーダーとして自分ができることをしていこう。</p>
6月	<p>②学校行事 6月(2時間) 「修学旅行」 自分の係の仕事に責任をもちながら、集団を構成する一人として、友達と協力して活動することができる。</p> <p>③家庭科 6月(2時間) 「調理実習」 自分の役割に責任をもって取り組み、協力して調理実習を行うことができる。</p>	<p>④&lt;公德心&gt; 4－(1)6月(1時間) 「リサの怒り」(本時) リサが腹を立てている思いを考えることを通して、地域社会の一人と自覚し、住みよい地域にしたいと思うことの大切さ、一人一人が進んで行動することでより良い社会になることに気づき、よりよい社会にしていこうという心情を育てる。</p>	<p>(★委員会活動) 自分の役割に責任をもって果たすとともに、学校のために進んで活動することができる。</p>	
7月	<p>⑤学級活動 6月(1時間) 「児童会役員選挙に向けて」 役員選挙に向けて、児童会の一員として自分の役割を自覚し、協力して選挙活動することができる。</p> <p>⑦児童会活動 7月(1時間) 「児童会選挙」 選挙に向けて、自分の役割を自覚し、児童会活動を進める一人として協力して活動することができる。</p>	<p>⑥&lt;役割と責任の自覚&gt; 4－(3)6月(1時間) 「メンバーとして」 みんなの言うことをじっと聞いていたぼくの気持ちを考えることを通して、メンバーの一人として役割を果たす責任の大切さに気づき、常に自分の役割と責任を果たそうとする態度を育てる。</p>	<p>(■通学班) 班長として、下級生の手本となる態度をとったり、安全に登下校させるために進んで行動したりすることができる。</p>	
	<p>自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たしながらよりよい集団を目指す子</p>			

# 「道徳の時間」学習指導案

指導者 岩本 朋子

- 1 日時 2014年(平成26年)6月27日(金) 第5校時
- 2 学年 第6学年 男子11名 女子11名 計22名
- 3 主題名 よりよい社会にするために 中心項目 4-(1) 〈規則尊重・公德心〉  
関連項目 4-(3) 〈役割・責任〉
- 4 ねらい リサが腹を立てている思いを考えることを通して、地域社会の一人と自覚し、住みよい地域にしたいと思うことの大切さ、一人一人が進んで行動することでよりよい社会になることに気づき、よりよい社会にしていこうという心情を育てる。
- 5 資料名 リサの怒り (出典:「小学校 心の元気Ⅱ」 広島県教育委員会)

## 6 主題設定の理由

- 本項目は、社会規範を守るとともに、公德心をもち、それらの精神を日々の生活に活かす児童を育てることを目標としている。よりよい社会集団を形成していくためには、個の尊厳とともに公共の精神が必要である。公德心は、一人一人の心の中に培われるものである。しかし、心の中に培われるもので見えない部分だからこそ、一人一人の思いや願いだけで行動してしまえば、集団生活は成立せず、いたるところで問題が起こってしまう。公德心を大切にすることで、自他の思いや願いが互いに守られ、集団や社会の安定が図られていくのである。六年生という発達段階を考えると、誰かから「やらされてする」から、自分から考えて「する」という積極的な生き方を身に付けさせたい。そこで、自分達が生きる社会集団をよりよくしていくためには、集団の一員として自覚をもち、一人一人が誰かがしてくれるという考えから自分から進んでよりよい社会を作ろうと意識を変えていくことが大切であることに気付かせるため、本主題を設定した。
- 本学級の児童は、きまりを守り生活をしようとする意識は高い。事前アンケート、「学校や社会のきまりを守ろうとしていますか。」という項目では、100%の児童が肯定的回答である。その理由として、「守らないと他人に迷惑。」「社会や世の中が大変になる。」が75%、「きまりを守ることは大切だから。」が20%、「危ないから。」が5%であった。また、「普段きまりの意味を考えていますか。」という項目に対して、60%の児童が肯定的に答えている。しかし、85%の児童が、「きまりを守ることができない時がある。」と答えている。また、日頃の児童の様子を見ると、学校の廊下や教室にごみが落ちていても素通りしてしまうこともある。これらのことから、児童には、面倒くさい、自分のごみではないし自分以外の誰かが拾ってくれるだろう、という思いがあると考えられる。
- 本資料は、次のような内容である。リサは自分達の住んでいる町をきれいにしようと総合的な学習の時間で公園掃除を計画し実行する。三日前に掃除をしたばかりでも公園にはたくさんのゴミがあったがくじけず清掃活動を続けていこうとするリサが、活動を一緒にする男子から「無駄なことはやめましょう。」「どうせ誰かが掃除をしてくれる。どうってことないじゃん。」等の発言を聞き怒りを感じる。リサの思いを考え話し合う中で、自分は地域を構成する一員であり、その一人一人が進んで行動していこうという意識をもつことで、よりよい社会をつくることができるということに気付くことができる資料である。

導入では、5年生の時の活動している写真を提示し想起させ、資料へつなげる。中心発問では、リサが怒り、叫んだ言葉とその時の思いを考えさせる。そして、自分たちの町を住みよい町にするために、住んでいる一人一人が進んで行動し、よりよく暮らしていくことよさに気付かせたい。終末ではスライドショーを使って、授業の中で気付いたことを振り返りながら、これからみんなのために、身の周りの社会のために自分には何ができるだろうかと思えるような投げかけをして終わりたい。

- 7 準備物 ワークシート、場面絵、BGM、スライドショー

8 学習過程

	学 習 活 動	主な発問と児童の心の動き	支援(○)・評価(★)改善点(◎)
導入	1 総合的な学習の時間に行った清掃活動を思い出し、感想を聞く。	○5年生の時、ごみ拾いをしてどうでしたか。 ・ごみが結構あった。 ・大変だった。疲れた。 ・公園がきれいになったので嬉しかった。	○活動の写真を提示し、活動時の思いを想起させ、資料へつなげる。
展開	2 資料「リサの怒り」を聞いて話し合う。	○リサは公園に捨ててあるゴミを見て、どう思ったでしょう。 ・前に掃除をしたのに、なんであるの。 ・もう嫌だ。 ・ゴミをとってもとんでも減らない。  ◎リサは腹が立ち何と叫んだでしょう。その時の思いも書きましよう。 A (自分の損得感情) ・どうして勝手なことばかり言うの。 ・どうってことないってどういうことよ。 ・人任せにしないで。 ・私はこんなに頑張っているのに協力してよ。 ・学級の仲間がどうでもいいと言ってもういやだ。 B (無責任に対して) ・無責任すぎる。自分のことと思わないのはおかしい。 ・きちんとしない人がいるからこうなる。 ・一人一人が公園を美しく使わないといけなから人任せではいけない。 ・自分達の公園、ゴミを捨てるのはどういうこと！ ・きたない公園のままでもいいの。 C (みんなでより良く) ・公園にゴミを捨てないということを、公園を使っている人が守るべきだ。 ・みんなの公園だから、みんなで綺麗にしよう。 D (社会の一員として) ・一人一人がゴミを拾うことが大切。 ・自分のゴミでなくても行動することで町はよりよくなる。 ・この町に住む一人の問題として考えよう。	◎ワークシートに、叫んだ言葉と一緒に、その時のリサの思いを書かせることにより、自分の考えを一人一人にもたせる。
	3 ふり返りをする。	[ 補助発問 ] ●自分のゴミでないから拾わなくていいのでは？ ・みんながそうなったら、ゴミだらけになる。 ・見ぬふりは、すっきりしない。 ・公園は町の人みんなの物なので、みんなできれいにしないとイケない。 ・一人一人が小さくても行動すると、よりよい町になる。	○どんな思いで叫んだのか、思いを訊くようにする。  ○分類して板書し、児童の思考を整理しやすくする。  ○意図的指名をすることで、徐々に道徳的価値の自覚が深まるようにする。
終末	4 スライドショーを見る。		★地域社会の一人と自覚し、住みよい地域にしたいと思うことの大切さ、一人一人が進んで行動することでよりよい社会になることに気付き、よりよい社会にしていこうという思いをもつことができたか。  ○ふり返りを書かせることで、これからの自分について考えようという気持ちをもたせる。

9 板書計画

絵

リサの怒り

みんなが気持ちよく  
みんなでより良い町に  
みんなの中の自分

三日前  
町内の掃除をしたばかり

この前掃除したばかりなのに・・・

また、なんでこんなにゴミが・・・  
どうしてだろう。

と叫んだ

- ・ みんなの公園だからみんなで綺麗にしよう。
- ・ 自分のじゃなくても。行動すると、町は良くなる。
- ・ 一人一人がゴミを拾うことが大切。
- ・ みんなが私の思いを分かってくれない。
- ・ 私がこんなに頑張っている。
- ・ 汚い公園のままでもいいの。
- ・ 他人は他人ではない。
- ・ きちんとしない人がいるからこうなる。
- ・ いいかげんにして。
- ・ 人任せにしないで。
- ・ 自分勝手。
- ・ 無責任すぎる。

人が捨てたゴミをいつまでも拾い続けるわけ  
どうせ 誰かが掃除をしてくれる

良夫

リサ

10 ワークシート

資料名

リサの怒り

名前

リサ

○今日のふりかえりを書きましょう。

その時のリサの思いも書きましょう。